

# くにみ 議会だより

No.187  
12月議会号



## 新年へダッシュ！ 希望あふれる年になりますように

くにみ幼稚園の英語活動で、英語を使ったかるたゲームをしました。  
子どもたちはかるたを取るうと一生懸命走りました。

### 12月定例会

滑川改修整備事業費などを増額  
(令和2年度補正予算)

P2

一般質問(5人の議員が登壇)

P5

傍聴者からの声

P12

# 滑川改修整備事業費 などを増額

引地町長就任後初となる12月議会定例会は、12月16日から18日まで3日間の会期で開かれました。

今定例会には、条例制定や令和2年度一般会計補正予算(第8号)など4議案が提出され、すべて原案どおり可決されました。

一般会計補正予算(第8号)では、既定の予算総額に歳入歳出それぞれ3億7487万円を追加し、予算総額75億7374万円としました。主な事業は、滑川改修整備、仮置場施設管理、貝田ほ場整備換地清算金、町債の繰上償還などです。

一般質問では5人の議員が登壇し、町政をただしました。

## 質疑

### 一般会計補正予算

#### 公用車の更新に際し 車種の見直しは

#### 問

(佐藤定男議員)  
公用車2台を更新

することのことだが、車種の見直しはしたのか。  
**総務課長** 前回の更新時には1台普通車から軽自動車にした。今回は用途を考慮し更新前の車種と同じタイプの普通車とした。

#### 滑川改修整備の内容 と完了見直しは

#### 問

(小林聖治議員)

滑川改修整備費用として4900万円が計上されているが、費用の内訳を問う。また本事業の完了時期はいつか。

#### 建設課長

2900万円が土地購入費、2000

### 令和2年度一般会計 補正予算(第8号)の主な内容

#### 【主な事業】

・滑川改修整備事業	4900万円
・仮置場施設管理、原状回復工事	2964万円
・貝田ほ場整備換地清算金	1069万円
・道路維持費	910万円
・町債の繰上償還	2億5539万円
・その他	2105万円
計	3億7487万円

#### 【主な財源】

・国庫支出金	△841万円
・県支出金	3685万円
・繰越金	2億6804万円
・町債	5737万円
・その他(各種清算金・返還金など)	2102万円
計	3億7487万円

#### 当初予算で見込め なかつた理由は

#### 問

(蒲倉 孝議員)  
仮置場の施設管理、工事請負費は、全額県

支出金で賄うことになって

いる。約3000万円の費用について、当初予算ではなく補正予算で対応する理由は何か。

#### 環境防災課長

原発災害に関する除染対策費は県が全額補助するが、あらかじめ金額が決まっているものではなく、仮置場の残置物の量、産業廃棄物の数量などの実績に基づいて請求するので補正予算での対応となる。



改修が計画されている  
滝川と滑川

## 駅前街路灯工事の内容は

### 問

(渡辺勝弘議員)

駅前街路灯の工事が費用が計上されているが、工事内容について伺う。

### 建設課長

平成30年度から3カ年計画に基づくもので、灯具を15基交換する。

## 障がい者を会計年度任用職員に採用した理由は

### 問

(浅野富男議員)

障がい者の報酬が新たに計上されている。障がい者を雇用するのは初めてだと思いが、雇用した理由は何か。

### 町長

近年障がい者雇用の実績はなかった。当該者が必要とする業務に合致したことから採用したものである。

## なぜ超過勤務手当を増額するのか

### 問

(山崎健吉議員)

超過勤務手当を約1400万円増額する理由を問う。

また、超過勤務手当が多くなれば管理職と一般職員との給与体系のバランスが崩れるのではないか。

### 総務課長

今回の補正額は上半期分の実績見込みによるものである。

管理職と一般職員の手当のバランスについては、業務に対する手当としてご理解願いたい。

## 仮置場の除去土壌輸送で傷んだ道路の修繕は

### 問

(八巻喜治郎議員)

中間貯蔵施設への除去土壌輸送のため大型車が往来し道路が傷んでいるが、搬出後は修繕するのか。

### 建設課長

今回の補正予算では、町道4号(広域農道)等の路面補修費用を計上している。仮置場からの輸送による道路への影響については、今後注視していく。

## 病院バスデマンド化試行費用を増額する理由は

### 問

(八島博正議員)

病院バスデマンド化に係る費用が増額されている。その理由と、これまでの利用実績を問う。

## 企画情報課長

利用者の動向を把握するため、試行期間を3月まで延長する費用を補正した。

利用実績は、1日平均6人、最大で13人となっている。ターゲットは50〜60人いると考えており、本事業の浸透を図りたい。

公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

昨年の台風19号による  
県北浄化センターの復  
旧工事負担金を増額

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2億64万円を追加し歳入歳出予算の総額を2億7046万円とする。

(全員賛成で可決)

## 質疑

## 完全復旧の時期は

### 問

(佐藤定男議員)

災害復旧費用は構成市町(2市2町)で負担することのだが、今回で終わりのなのか、また完全復旧の時期はいつか。

### 上下水道課長

復旧工事の完了は令和3年度末である。工事費の負担は来年度も発生する。

後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

## システムの改修費用を増額

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億3万円を追加し、歳入歳出予算の総額を1億4488万円とする。

(全員賛成で可決)

## 引地 真町長 所信表明 (抜粋)



私たちが生まれながらに持っている「幸せになる権利」を実現するため、町民皆様の心をしっかり受け止め、「命を大切に、誰もが幸せに暮らせる国見町」を基本理念に、「まちづくりの6つの目標」を掲げた。これまでの良いところは受け継ぎつつも、前例にこだわらない攻めの施策を展開していきたい。

## 町長の行政報告 (抜粋)

### ■新型コロナウイルス感染症対策

● 県内では新たなクラスターが発生するなど予断を許さない状況となっている。町では、定期的に新型コロナウイルス対策会議を開催し、県内感染情報の共有や、町民に対する注意喚起の方法などについて協議している。

### ■健やかに暮らせるまちづくり

● 長寿・健康づくり講演会  
● 11月13日、「新型コロナウイルス感染症から身を守りながら健康に生活するためのポイント」をテーマに行った。

### ■安全・安心、優しいまちづくり

● 除染対策事業  
● 仮置場から中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送は、最後の森江野方部2号仮置場からの輸送を行っており、令和3年1月中旬には、全て完了する予定である。

### ● 米のモニタリング検査

● 今年度から県が行うモニタリング検査に移行し、全ての調査地点から放射性物質が検出されなかったため、順次、米の出荷・販売が開始された。

### ● あんぽ柿の産地再生に向けた取り組み

● 11月17日から非破壊検査を実施し、出荷が開始された。

### ■未来へつなげるまちづくり

### ● スポーツ事業

● 町民スポーツ交流大会は、8月末より3週間にわたって開催し、9種目に463名が参加し、熱戦が繰り広げられた。

● 県市町村対抗軟式野球大会でベスト16に、ソフトボールはベスト8に進出した。

### ● 国見ホイスコーレ事業

● 短期プログラムでは、石母田の古民家を中心に町内を回る事業を実施した。

### ■資源を活かしきるまちづくり

### ● 特別栽培米「くにみ米」

● 10月18日に道の駅国見あつかしの郷で大収穫祭を開催し、無料配布や販売会を行った。

### ● 歴史を活かしたまちづくり

● 阿津賀志山防壁下二重堀地区歴史公園整備は、町道北側の蓮池護岸工事に着手し、その工事が終了したのち、南側の蓮池工事に着手する予定である。

● 歴史公園の愛称募集を行ったところ、150件を超える応募があった。

### ■相互理解と共感のまちづくり

### ● 空想マルシェ

● 「アカリ」が主体となって開催し、県内外からの出店や来客があり、交流連携が図られた。

### ■町として生きるまちづくり

### ● 第6次総合計画

● 素案が固まり、来年2月には答申が出される予定である。令和3年度から10年間の町の指針となる。

## 条例制定

## 選挙運動の公営に関する条例

国見町の議会議員及び長の選挙における選挙運動の公営に関する条例

(要旨) 公職選挙法の一部改正に伴い、町の議会議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用、選挙運動用ビラの作成、選挙運動用ポスターの作成が公費負担の対象となった。  
(全員賛成で可決)

## 質疑

## 問

(浅野富男議員)

この条例では供託金は発生しないのか。

## 総務課長

答

供託金については公職選挙法に規定している。

## ～5人の議員が登壇し、活発な議論を展開～



# 町政を問う

一般質問

## 12月定例会

議員	質問事項	ページ
松浦 常雄	町長の町政執行とまちづくりの基本方針は	6
	来年度の当初予算編成の基本方針は	
佐藤 定男	給食費の無料化は実施できるのか	7
	道の駅国見あつかしの郷の現況と今後は	
山崎 健吉	高齢者の健康づくりのため外部トレーナーを活用できないか	8
	今後の国見町が発展するための方策は	
浅野 富男	過疎化を防ぐための施策は	9
渡辺 勝弘	新たな町政運営をどう進めるのか	10
	国見町の介護施設は十分か	
	町社会福祉協議会会長を兼務する考えは	

質問、答弁は要約して掲載しています。会議録全文は、町議会ホームページに掲載予定です。[<http://www.town.kunimi.fukushima.jp/site/gikai/>]

国見町議会ホームページ → 会議録検索 → 会議録検索システム → 会議録検索システムへ

一般質問とは、議員が町政全般にわたり執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

## Q 町長の町政執行と まちづくりの基本方針は

### A 誰もが幸せに暮らせる国見町を目指す



松浦常雄議員

6つの目標とは何か。

#### 町長

1つ目は、健康と医療の連携

強化、健やかに暮らせる国見町。2つ目は、命を守る安全・安心、優しい国見町。3つ目は、子育て、人づくり、教育環境の再構築、未来へつながる国見町。4つ目は、恵まれた資源の再確認、活かしている国見町。5つ目は、町民と町と議会の新しい連携、相互理解と共感の国見町。6つ目は、未来への持続、町として生きる国見町である。

でいくのか。

#### 町長

1つ目は、公立立藤田総合病院を核とした町の医療サービスの安定化と町民一人一人の健康維持の両立・連携強化、また、障がいがあっても日々の暮らしの質を高めるサポート体制の充実を図る。2つ目は、

道水路などの改修、新型コロナウイルス対策、一人暮らしや障がいのある方、家庭内暴力やいじめに遭っている方に対応するセーフティーネットの拡充など、命と安全・安心を確保する仕組みを構築する。3つ目は、新型コロナウイルスに対応した学習や、保育環境の整備、いじめ、発達障害の子どもや生活困窮世帯の子どもへの対応など、子育て、人づくり施策を再構築する。4つ目は、交通網、農産物、歴史、文化、国見に住む人々



多くの町民が期待を寄せ集まった町長初登壇

### 来年度の当初予算 編成の基本方針は

#### 問

コロナ禍で経済不況による税収減が予測されるが、来年度の当初予算編成の基本方針を伺う。

#### 町長

令和3年度当初予算編成の基本方針は、現在策定中の第6次国見町総合計画や、歴史的風致維持向上計画など各計画に位置づけられた施策を具体化すると共に、まちづくりの6つの目標達成を目指す。

#### 問

少子高齢化、人口減少が続く中、町長は町の課題をどのように捉えているのか。

#### 町長

大規模自然災害への備え、新型コロナウイルス対策、少子高齢化と人口減少への対応、増加する荒廃農地・山林や鳥獣被害、空き家対策、農業・商業・

#### 問

工業の活性化対策など課題が山積している。中でも、新型コロナウイルスによる健康、医療、地域経済、なりわいの維持などの課題に網羅的、重層的に対応しなければならぬ。

#### 問

「誰もが幸せに暮らせる国見町」を達成するための6つの目標を達成するために具体的にどう取り組ん

# Q 給食費の無料化は実施できるのか

## A 財源は新年度予算で判断する

**問** 町長は選挙公約として給食費の無料化を掲げている。食育や財源の観点から果たして無料化は必要なのか。

**町長** 前町長も話されてきているように、子どもは町の宝であり、子育て支援は町の責務である。財源は新年度予算編成の中で判断したい。

**問** 選挙公約に、保育所、幼稚園の運営を見直し、認定こども園に移行するとあるが、この考えに至った理由と移行した場合のメリットは。

**町長** 一番の理由は少子化対策である。認定こども園に移行することにより0歳児から5歳児まで一貫した教育・保育が可能

となる。保育士・幼稚園教諭にとっても連続して教育できるメリットがある。

**問** 生活困窮世帯に対し、高等教育機関への就学援助は是非とも実現して欲しいが、現状と具体策を問う。

**町長** 一定の所得未満の家庭の小学生に、学用品費や給食費、修学旅行費等を援助している。

**次長** 満の家庭の小学生に、学用品費や給食費、修学旅行費等を援助している。

**町長** 今後高校生以上を対象とした奨学金貸付制度について、見直しを含め新たな制度設計を進めたい。

# 道の駅国見

## あつかしの郷の現状と今後は

**問** 令和2年3月期の決算は当期純利益800万円を計上した。しかし内訳を見ると町からの指定管理料2400万円を受けての数字である。この金額2400万円の根拠は何か。

**まちづくり交流課長** 町の指定管理料は公共・公益施設部分の光熱水費や維持管理にかかる費用である。金額は協定に基づき毎年町と会社間で協議し、税込み2500万円を上限に決定している。

00万円、来場者4400人は立派な数字である。ただ、この立派な数字が逆に経営を難しくしているのではないか。毎年多額の指定管理料を投入することを考

えれば、経営ノウハウを持った民間の力を導入する選択肢もあるのではないかと。道の駅の経営に当たっては、町の意向が最大限に尊重されるよう、町の全額出資による株式会社でスタートした。町の意向が尊重される一方、経営効率の面で民間経営に比較して劣る



国見小学校の給食のようす

部分は否めない。

**町長** 今般、国見まちづくり株式会社社長に朽木勝之氏が就任した。一概に経営効率ばかりで判断すべきでないと思うが、町としては今後

も株主の立場で、経営のノウハウを持った民間力の導入についても必要に応じ協議したい。



佐藤定男議員

**Q** 高齢者の健康づくりのため外部トレーナーを活用できないか

**A** 介護予防事業での対応や設備導入等を検討したい



山崎健吉議員

**問** 高齢者の健康づくりは様々だと思っっている。スポーツジムのような設備や近隣にあるグラウンドゴルフ場など、今後当町にも設置する考えはあるか。

**課長** 運動器具による健康づくりも効果はあると考えるが器具がなければ健康づくりができないわけではない。実際高齢者の方が参加している通いの場にも運動器具はないが効果は出ている。健康づくりは運動の習慣化が大切でありそのための仕掛け、工夫が大切であると考える。

**問** 75歳以上の医療費は、一人あたり約74万円とあるが主な原因は何か。

**課長** 生活習慣病が大きい。原因は様々だが若い時の生活習慣で年を重ねることにより重症化し結果として医療費の増加に繋がると考えられる。その内慢性腎臓病と糖尿病性腎症の二つの病気の重症化を防ぐことが医療費の抑制に繋がると言われている。



通いの場で元気な体づくり

**町長** 現実的に、今当町で大規模な工業団地を造成する力は持ち得ないと考える。また、都市計画法の問題も国見町の課題の一つである。現時点では、この状況を見極めてチャンスがあれば引き込むという意思を持ち様子を見たい。

**問** 65歳以上の国民健康保険加入者の医療費はどの程度伸びているのか。

**課長** 令和元年度は一人あたり約40万円で、この2年間で5・4%伸びた。今後も伸びると想定しているが、国民健康保険の加入者が減少することから、総額の医療費としては減少する傾向にある。

**問** 町では通いの場や百歳体操等を奨励しているが、指導者不足に悩んでいる。健康維持と医療費削減のため、外部の専属トレーナーを定期的に活用すべきと思うがいかがか。

**問** 当町には土地が無く工場等の誘致はあまりメリットがないと聞こえるが、これでは町の発展も労働力も生まれられないか。

**町長** 現時点では町が工業団地を開発して分譲するような手法はなじまないと考えている。企業誘致は景気動向や事業者の意向もあることから国、県などと情報交換を密にし、機会があればそれを逃がさず誘致に繋げていきたい。

**問** 国見インターが開通して半世紀が経つ。来年には伊達桑折インターチェンジから相馬方面へと開通し、その周辺に大型商業施設が誘致されるとの報道がある。そうなる道と駅国見あつかしの郷も飲み込まれていく懸念があるが、逆にこれをチャンスと捉え、工場等の誘致を考えてはどうか。

**町長** 国見インターが開通して半世紀が経つ。来年には伊達桑折インターチェンジから相馬方面へと開通し、その周辺に大型商業施設が誘致されるとの報道がある。そうなる道と駅国見あつかしの郷も飲み込まれていく懸念があるが、逆にこれをチャンスと捉え、工場等の誘致を考えてはどうか。

# Q 過疎化を防ぐための施策は

## A 若者の移住、定住を進める

### 問

歩いて暮らせるまちづくりとは、身近なところで暮らしに必要な生活用品が調達できることを意味するものと思う。このような視点からの施策も必要と思うが。

### 企画情報課長

移動に必要な道路と公共交通機関の整備が必要である。国土交通省が進めるコンパクト

歩いて暮らせるまちづくりとは、身近なところで暮らしに必要な生活用品が調達できることを意味するものと思う。このような視点からの施策も必要と思うが。

### 問

伊達市堂ノ内地区に超大型店の出店計画が取りざたされているが、安心して暮らせるまちづくり

と共存できないのではと思うがいかがか。

### 建設課長

伊達市堂ノ内地区の大型商業施設の詳細な計画が示された場合は、その影響等について慎重に推し量り県北地域全体の発展となるよう近隣市町と連携を図りたい。

### 問

少子化対策として子育て支援に力を入れている自治体が増えている中で、学校給食費の補助を実施している市町村も多いが、本町での見通しはどうか。

### 教育次長

今年度より入学祝い金制度を新設したが、教育環境の目まぐるしい変化の

### 問

スクールバスが運行されているが、効率的かつ利便性など常に検討を加える必要があると考えるが、いかがか。

### 教育次長

急速に進む少子高齢化の対応や、今後検討される交通体系など総合的な移動サービスの構築の中で、児童の安全を第一に適宜検討したい。

### 問

町の周辺部では、地域を構成する人の年齢が高くなり各種の作業や組織にも支障を来している。過疎化を防ぐ対策は重要な課題であるがこれからの進め方を伺う。

### 町長

地域の維持には若者の移住・

中で、その充実を図ることは喫緊の課題である。給食費の無料化を実現できるように財源の確保に努めたい。

定住を進めること。そのためには安定した所得が必要であるが、農業の法人化により所得確保の不安を払しょくすることも重要となる。また兼業で農業を

営む場合の受け皿づくりも必要である。



浅野富男議員



豊かな農地が広がる国見町の田園風景

**Q** 新たな町政運営をどう進めるのか

**A** まちづくりの目標達成に向けて職員と共に取り組んでいく



渡辺勝弘議員

**問** 町長は、まちづくりの基本理念を実現するため6つの目標を掲げている。実現するためには職員との共通認識を図る必要があると思うがいかがか。

**町長** 職員との意思疎通を図るため、事業を直接担当す

**問** 町長は、まちづくりの基本理念を実現するため6つの目標を掲げている。実現するためには職員との共通認識を図る必要があると思うがいかがか。

**町長** 職員との意思疎通を図るため、事業を直接担当す

**問** 町長は、まちづくりの基本理念を実現するため6つの目標を掲げている。実現するためには職員との共通認識を図る必要があると思うがいかがか。

**町長** 職員との意思疎通を図るため、事業を直接担当す

**まちづくり交流課長** 意見交換の設定や、必要であれば組織づくりなども進め、農業も含めた商工業の振興に努める。

**保健福祉課長** 居住系の介護施設が充足しているとは言えないが、広域的にはいづれかの施設に入所しサービスを受けていることから喫緊に必要なことの判断は難しい。加えて、老年人口も減少していくことが見込まれ、施設の増設は確実に保険料に跳ね返り、施設の運営にも支障が出るため慎重に判断すべきである。

**町長** 暮らしやすい町とはどのように考えているのか。

**町長** 社会福祉協議会は民間の法人であるため、評議員や理事等は社会福祉協議会自らの選出基準に則り選出されている。町長が会長を兼務する必然性はないが、不適切でもない。

**問** 将来的に市街地周辺の利便性の高い場所に土地を購入してでも、介護施設を増やす考えはあるか。

**町長** 暮らしやすい町とは人によって様々だが、この地に暮らす人々が日々を懸命に生き、自分の考える価値観を大切に、地域の様々な人々と思いを共有し、お互いを尊重し、支え合い助け合いながら暮らしていくことである。その中で、元気な高齢者の力をお借りして、地域づくりやまちづくりを一緒に進めていくことが暮らしやすい町に繋がるものと考えている。

**町長** 暮らしやすい町とは人によって様々だが、この地に暮らす人々が日々を懸命に生き、自分の考える価値観を大切に、地域の様々な人々と思いを共有し、お互いを尊重し、支え合い助け合いながら暮らしていくことである。その中で、元気な高齢者の力をお借りして、地域づくりやまちづくりを一緒に進めていくことが暮らしやすい町に繋がるものと考えている。

**問** 全国的に町長の社会福祉協議会の兼務はないと思っている。今後、町長は会長を兼務すべきではないと考えるがいかがか。

# みなさんからの 陳情

12月定例会では、先の9月定例会において継続審査としていた陳情を総務文教常任委員会で審査し、結果は以下のとおりとなりました。

陳情	提出者	結果
国に対し、「再審法（刑事訴訟法の再審規定）の改正を求める意見書」の提出を求める陳情書	日本国民救援会伊達支部 支部長 二瓶 勇雄	継続審査

## 請願・陳情を提出するには

### 請願・陳情とは

地域住民が町政についての意見や要望を文書で提出することができます。議員の紹介があるものを請願、ないものを陳情と呼びます。

### 提出方法

請願(陳情)書には、次の事項について記載いただき、押印のうえ町議会議長あてに提出してください。

1. 提出年月日
2. 請願(陳情)者の住所
3. 請願(陳情)者の団体名  
(※個人の場合は必要ありません)

4. 請願(陳情)者の職・氏名
5. 連絡先(※日中連絡が取れる電話番号と担当者名)
6. 紹介議員の署名(※陳情は必要ありません)
7. 件名
8. 請願(陳情)の趣旨

- 請願(陳情)書は、各定例会で審査をしますので、各定例会の10日前までに提出してください。定例会の日程は、議会事務局にお問い合わせください。(電話：585-3295)
- 受付は、平日午前8時30分から午後5時15分までの間、国見町役場3階の議会事務局で行っています。

## 議会の動き

12月16日 ～18日	12月議会定例会
12月16日	議案調査会、総務文教常任委員会、産業建設常任委員会
12月17日	正副議長委員長会議、広報常任委員会
12月18日	全員協議会
12月20日	あつかし山ビッグツリー点灯式
12月23日	伊達郡各町議会議長会議(福島市)
12月24日	福島地方水道用水供給企業団例月出納検査(福島市)
12月25日	例月出納検査
1月4日	広報常任委員会
1月8日	広報常任委員会
1月14日	広報常任委員会
1月19日	議会運営委員会、全員協議会、臨時会
1月21日	議員懇談会、総務文教常任委員会
1月25日	例月出納検査
1月26日	福島地方水道用水供給企業団例月出納検査(福島市)

## 次の定例会は 3月上旬に開催予定です

### 議会を傍聴される皆様へ

新型コロナウイルス感染症予防のため、本会議を傍聴される際は、次のことにご協力をお願いいたします。  
傍聴者が多い場合は入場を制限させていただきますので、ご了承ください。

1. マスクの着用と入場時の手指消毒をお願いいたします。
2. 入場時に検温をさせていただきます。
3. 発熱など体調がすぐれない場合は、傍聴をご遠慮ください。

議会本会議はインターネットでライブ配信しておりますので、ぜひご利用ください。

<http://www.town.kunimi.fukushima.jp/site/gikai/>

詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

TEL 585-3295 (直通)

## 新型コロナウイルスと

### 向き合う2021年

はじめに、日々国見町のために頑張ってくださっている引地町長及び役場職員の皆様や、議員の皆様に感謝申し上げます。

私は大木戸山根地区で果樹生産に携わっておりますが、様々なことを経験しました。東日本震災に始まり、干ばつや大雨、大雪などの自然災害、これらは農家にとって大きな壁になってまいりましたが、何とか乗り越えてきました。しかし、この度の新型コロナウイルスによる世界への影響は計りしれないもので、影響のなかった個人、事業者はほとんどいらっしやらないでしょう。私は「農家は体が資本」だと教わってきました

たが、ここ一年余りの新型コロナウイルス騒動を目の当たりにして、それは全ての人に当てはまることだということを再認識しました。

国見町は大都会ほど感染リスクは高くないと思いますが、三密を避け出来るだけ家の中にいたいと思います。それが他人を守ることもつながると信じております。

2021年は何とも暗いニューズばかりとなっており、皆様それぞれ大変な苦労をなさっていることでしょう。それでも目の前のことを一生懸命に乗り越えていけるように「健康第一」で日々生活していきたいです。ワクチンが出来たところで世の中は元通りにはならないでしょうが、早く沈静化して友人や仕事仲間と飲み会をしたり、妻との結婚式を挙げられたらいいなと思っております。

最後になりますが、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。私の一言と致します。



谷津 陽介さん  
(山根町内会)

## 傍聴者からの声



12月議会を傍聴したみなさんからアンケートによりご意見をいただきました。(抜粋)

- 町の課題について、議員が具体的に活動しても良いのでは。もう少し町民の目線で考えてほしい。(男性)
- もう少し内容に踏み込んで質問してもらいたい。(70代・男性)
- 議員定数削減推進について。(議員提出方願います。)(80代・男性)



コロナ禍の中で迎えることになった2021年、これまでの新しい年の迎え方とは大きく変わり、極めて静かなる正月ともいえる新年の幕開けとなりました。

町内会における新年会は中止、町が行う賀詞交歓会、成人式も中止となりました。感染の拡大によって起きる医療現場の崩壊を防ぐためとはいえ人々が集うことを抑制されたのです。

人類に襲いかかったウイルスという微生物によってこれまで営まれてきた社会生活が一変させられました。経済状況の悪化は生活の維持に深刻な影響をもたらしています。これまでの在り方が問われているのでしょうか。

この間、一般質問の中止、開会期間の短縮、傍聴の禁止など簡略化措置を執った議会もありました。しかしこのようなたまごそ住民の声を聴き政策に反映させることが議会ではないのでしょうか。

(浅野 富男)

発行責任者

議長 東海林一樹

広報常任委員会

委員長 浅野 富男

副委員長 佐藤 定男

委員 東海林一樹

委員 松浦 常雄

同 村上 一

同 穴戸 武志